



むさしの体協

平成27年 3月15日 No.79

発行 武蔵野市体育協会
武蔵野総合体育館内3F
TEL/FAX 55-4119
e-mail:m-taikyo@parkcity.ne.jp
http://musashinotaikyo.ecsv.jp/

東京オリンピックを夢見て

武蔵野市長 邑上 守正



第6回中学生「東京駅伝」大会が、本年2月8日に調布市にある味の素スタジアムで開催されました。昨年は大雪のため中止となり2年ぶりの開催です。出場26市23区1町、合計50自治体の各中学生男女代表チームの対抗で、女子は30kmを16人で、男子は42.195kmを17人でつなぎます。武蔵野市は「風になれ！武蔵野」をスローガンに市内公立と私立の中学2年生より選抜された期待のチームが編成されました。当日は、午後から雨となり寒い中での競技でしたが、各選手の健闘とサポートに回った選手たちのチームワークにより、見事にたすきがつながりました。選手たちの懸命な走りに、ただただ感激です。

味の素スタジアムの目の前、甲州街道沿いには

1964年東京オリンピックのマラソン折り返し地点の記念碑があります。今から50年前、当時小学1年生だった私は、オリンピックマラソン競技のテレビ中継にくぎ付けとなりました。エチオピアのアベベ選手は淡々と先頭を走り、この折り返し地点から独走状態。後続の集団には、日本の円谷幸吉選手が含まれ、懸命に後を追います。頑張れ円谷！アナウンサーの声にこちらも応援のボルテージがあがります。国立競技場には、そのままアベベがマラソングートから入場し、余裕の表情で一位のテープを切り、金メダルを獲得しました。続いて入ってきたのは、なんと円谷選手！しかしすぐ後を、英国のヒートリー選手が追っています。円谷頑張れ、円谷頑張れ！恐らく競技場の観衆と日本中のテレビ視聴者が応援していただろうと思います。しかし、トラックの途中で抜かれ、3位銅メダルとなりました。銅メダルは見事です。しかし、私には円谷選手が外国の選手に抜かれた悔しさの方が鮮明に記憶されています。その思いが、後に、マラソン選手になりたいと夢を描いた理由でもあります。テレビ観戦後、悔しさと興奮

勇気また、がまんする、あきらめない、撓う生き方を海は私に教えてくれました。泳ぎ終わった次の日は、海から昇る日の出に手を合わせ健康に感謝するのは大切な習慣になっています。もう少しの間、今の毎日が続く事を祈っています。

第15回 世界マスターズ 水泳選手権大会に 出場して金メダル！

武蔵野市水泳連盟 中澤 昭子



海や湖などの自然の中で泳ぐオープンウォーター3Kmの種目に出場しました。2012年イタリア大会の会場は海でした。この大会で完敗した私は、外国の方の強さに勇気をいただきました。2014年のモントリオール（カナダ）大会を目指し練習を積みました。今回の会場はボートレースを行う人工池で、波や汐の流れの無いコースでした。75歳から79歳の区分で幸い金メダルをとれました。

良いコーチに恵まれ頑張れば、手が届くかも知れない目標に向かって、まだ上手に速くなると自分に語りかけ練習しています。海のレースに備え素晴らしい市営プールが近くにあるので幸せです。35年以上、海外・国内のレースや海峡を数多く泳ぎました。自然の大きな力として海を熟知している船長の伴走の中で泳ぐ幸せをいつも全身で感じています。無理と感じたら断念する

西東京剣道大会・ 中学生の部、初優勝！

武蔵野剣道連盟 監督 沖田 敦幸

昨年10月26日に第49回西東京剣道大会が開催され、中学生の部で、武蔵野剣道連盟発足以来、初めての優勝を飾ることができた。

メンバーは、アジア剣士会、警察少年剣道会、武蔵野中央剣道会の、中学2年生の精鋭たち。普段から、それぞれの道場で稽古を積み重ね、全員が持てる力を十分発揮した素晴らしい試合展開であった。

一回戦の八王子剣道愛友会との試合は3対1、二回戦の国分寺剣友会との試合は3対0で勝利し、準決勝進出を決めた。準決勝の青梅市剣道連盟との試合はリードを許したものの副将で勝利を決めた。最後の決勝の相手・小平市剣道連盟には、



大将戦まで纏れ込んだものの、会心の飛び込みメンを決め、3対2で勝利することができた。

最近の代表試合の戦績は非常に良く、昨年は、都民大会3位、東京都青年大会3位、西東京女子3位、そして今回の優勝。本人の努力は勿論のこと、各道場の指導者や剣道連盟役員の支えがあって実現されたものであると思う。今後も、剣道連盟一丸となって、精進していきたい。

第30回 市民スポーツフェスティバル

10月12日(体育の日) 午前10:10～午後3:30

武蔵野陸上競技場/武蔵野総合体育館 参加費無料・当日受付

輪投げ・一輪車・50m走・卓球・ビームライフル射撃・ダーツ・体力テスト・ドッジビーなど

雨天時は館内種目のみ ストリートスポーツイベントも同時開催

武蔵野市体育協会 体育功労賞

野村 かほる 弓道連盟



昭和 28 年に弓道部として発足した連盟は一昨年、60 周年になりました。歴代関係者の努力の積み重ねの賜物であり「受賞」は関係者皆のものと思っております。動じないのと 28 メートル離れて対峙し心の動揺、雑念を払拭し誠を尽す弓道の要諦が幅広く発展していくことを願っています。

都民生涯スポーツ大会ソフト バレーボール (シルバーの部) 優勝!

武蔵野市バレーボール連盟吉祥寺クラブ
監督 高田 昭

この大会は、都民体育大会や市町村総合体育大会と同様に区市町村対抗の試合です。連盟は毎年役員を中心にチーム (吉祥寺クラブ) を作って参加してきましたが、今回、初めて優勝することが出来ました。生涯スポーツの名のとおりに 30 歳以上の男女が参加するもので、ソフトバレーボール本来の 4 人制のほか 9 人制がおこなわれてきました。今年の結果は、9 人制男女混合の部ではコートでベスト 4 でした。しかし、4 人制シルバーの部では対中央区、対目黒区、対大田区と全て 2 : 0 と勝ち進み、対世田谷区では一番苦戦しましたが 2 : 0 と完勝し優勝しました。ソフトバレーボールの普及に長く携わってきた者として、今回の優勝は大変嬉しく思うとともに、今後の普及活動のステップになると考えています。今日までの関係者のご支援・ご協力に感謝するとともに、生涯スポーツの趣旨に賛同し参加しようと思われる方々のお声掛けをお待ちしています。



第 12 回南関東ジュニア武術 太極拳大会 (少年の部・長拳) 第 2 位

武蔵野市武術太極拳連盟 理事長 東出 桂子



2014 年 9 月 21 日 (日) 埼玉県和光市総合体育館に於いて開催された「第 12 回南関東ジュニア武術太極拳大会」の国民体育大会・公開競技部門で実施された＜少年の部・長拳＞で、武術太極拳連盟の西村吏生選手 (小学 5 年生) が、2 位を獲得しました。

西村選手は、学校の勉強もカンフースターズの

八反田 篤 スキー連盟



ています。

この度は、「体育功労賞」をいただきありがとうございました。今 82 才ですが、こんな年までスキーを続けられるとは、思ってもみませんでした。これからも健康のために、好きなスキーを無理せず楽しみながら続けたいと思っています。

佐々木 正道 山岳連盟



を楽しんでおります。

この度「体育功労賞」を頂き誠に有難うございます。武蔵野市山岳連盟に加入し 20 年、常任理事またスクールのスタッフとして指導に努めました。今は連盟の交流部に所属し会の仲間又連盟の人達と、健康と体力作りの為に山登りを

練習も共に頑張る、文武両道を実践しています。

今回の難しい種目に対しても、コーチの注意をよく聞き、真面目に取り組み、挑戦しました。結果は 2 位でしたが、1 位と同点の 2 位という素晴らしい成績でした。

カンフー＜長拳＞は日本国内ではまだマイナーな競技ですが、国際的には競技大会も盛んに行われていて、今後の発展が期待されています。武術太極拳連盟でもジュニアの育成に力を入れており、西村選手の好成績もその成果の現れと思われまます。「来年は 1 位を目指す!!」という力強い目標コメントもあり、後輩達の良きお手本となりながら益々の活躍を期待し、応援していきたいと思ひます。

全国ママさん大会二連覇!

武蔵野市バスケットボール連盟
理事長 岩本 純一

武蔵野市連盟所属のママさんバスケットボールチーム「デレッターズママ」が昨年七月に東京都代表として新潟県の佐渡島で開催された全国大会に出場しました。全国大会はブロックに別れて戦います。順調に勝ち上がり決勝は埼玉県代表との関東対決になりました。ここまで、酷暑の中頑張ってきましたが決勝は大苦戦。1 Q (クォーター) で 8 点差のスタートから少しずつ点差を詰めていき、ラスト 2 分でようやく同点。さらに 1 分半で逆転し残り 1 分を切ったところで快心の 3 ポイントシュートが決まり、そのまま 5 点差で逃げ切り昨年の埼玉大会に引き続き、上位ブロックで優勝、二連覇を達成しました。やはり全国大会で優勝すること、連覇することの厳しさを感じさせられた大会でした。

また、九月の東京都生涯スポーツ大会も武蔵野市代表として出場し、二連覇を目指しました。準



片岡 潔 サッカー協会



れるでしょう。

この度は、「体育功労賞」をいただきありがとうございました。スポーツをする仲間達は、いつまでもプレーヤーでスポーツマンであって欲しいと思います。「生涯スポーツ」をすることは必ずや素晴らしい人生の一役を担って

私達を支えてくれるサポーターの皆様に感謝々々です。

決勝の千代田区戦は終始リードしつつも苦戦。3 点差で辛くも決勝に進出。決勝は昨年同様に西東京市でしたが、気合を入れ直して 64-37 と完勝。こちらも二連覇を達成しました。

2014 アジア ユースサッカー・ フェスティバルに参加して

梧桐スポーツ少年団 安田 博昭

昨年 8 月、韓国で開催された「2014 アジアユースサッカー・フェスティバル」に、日本チーム代表 (U-11) として参加をしました。本大会は、この年第 2 回目の開催となるサッカーの国際大会で、サッカーを通じてアジア各国の文化に触れ、幼・少年期に必要な感性を学びグローバルな交流を経験することにより、子どもたちに世界を見つめる広い視野をもってもらうことを目的としたもので、アジア 16 ヶ国から 62 チーム、876 人の子どもたちが出場しました。



日本からは「U-13」と「U-11」のカテゴリに合わせて 5 チームが参加しましたが、「U-11」の代表チームは武蔵野市の 1 チームのみ。韓国、中国チームなどと対戦をしましたが、子どもたちも韓国の華城市総合競技タウンのピッチに立ち、はじめは緊張していましたが、負けた試合ではみんな大泣きをするなど、気持ちの入った素晴らしいプレーをしてくれました。

大会は、韓国政府から文部科学省に出場依頼があったもので、大韓民国国民生活体育会の主催で開催され、文部科学省からも現地に 3 名同行するなど、セキュリティーの厳しい中で開催されました。子どもたちも日本代表という大きなものを背負っての試合で、一生の素晴らしい思い出と経験になったことと思います。

スポーツ指導員を派遣します!!

体育協会では、市民スポーツの普及、振興をはかり、市民の自主的スポーツ活動を促進するために必要な指導員を養成しています。現在、26 種目 172 人の指導員がいます。是非、ご利用ください。

詳しくは体育協会事務局まで